

問1 奈良時代には、国家の成り立ちや天皇による統治の由来を記した歴史書と並行して、地方の状況を詳しくまとめた『風土記』が編纂されました。この『風土記』の内容について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 天皇の系譜や神話を中心に、国家の正統性を主張するためにまとめられた。 | 2. 全国の土地の肥沃さや特産物、地名の由来や古い伝説などが記録された。 | 3. 防人や貴族など、様々な立場の人々が詠んだ歌を集めた日本最古の和歌集である。 | 4. 仏教の力で国を守るため、聖武天皇の命により全国の国ごとに建立された。 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|

問2 奈良時代に『古事記』や『日本書紀』が編纂された背景にある、当時の政府の意図として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|
| 1. 天皇による支配の正当性を、神話や過去の出来事と結びつけて国内外に示すこと。 | 2. 平仮名の普及に伴い、漢字を使用しない新しい日本独自の文学スタイルを確立すること。 | 3. 仏教の教義を分かりやすく解説し、一般庶民の間に信仰を広めること。 | 4. 地方の特産物や地理的特徴を調査し、徴税制度を強化するための基礎資料とすること。 |
|--|---|-------------------------------------|--|

問3 奈良時代には、天皇を中心とする律令国家の体制を整えるため、国家の成り立ちや正当性を示す歴史書の編纂が行われました。この時期にまとめられた、日本最古の歴史書とされる書物と、中国の歴史書の形式にならって編纂された正史の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 古事記・日本書紀 | 2. 古今和歌集・万葉集 | 3. 風土記・日本書紀 | 4. 日本書紀・解体新書 |
|-------------|--------------|-------------|--------------|

問4 奈良時代に設けられた「防人」の制度について述べた文として、当時の社会状況や地理的条件を踏まえた正しい説明はどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。 | 2. 朝鮮半島から移り住んだ渡来人によって組織され、東北地方の蝦夷を鎮圧した。 | 3. 朝廷に直接仕える近衛兵として、都の平城京の警護を専門に行った。 | 4. 大宰府の役人として採用され、大陸からの使節を接待する役割を担った。 |
|--|---|------------------------------------|--------------------------------------|

問5 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|--|------------------------------------|---|--|
| 1. 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。 | 2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。 | 3. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。 | 4. 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。 |
|--|------------------------------------|---|--|

問6 聖武天皇が国分寺や国分尼寺を全国に設置した目的について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。 | 2. 壬申の乱によって打撃を受けた地方勢力を、寺院の管理を通じて中央集権体制に組み込むため。 | 3. 律令制度に基づき、全国の戸籍調査を円滑に進めるための地方役所の出先機関とするため。 | 4. 藤原氏が摂政や関白として実権を握るのを防ぐため、寺院に独自の軍事力を持たせるため。 |
|--|--|--|--|

問7 天平文化の特徴として述べた文として、最も適切なものはどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------|
| 1. 遣唐使を通じてもたらされた唐の文化の影響を受け、国際色豊かであった。 | 2. 日本の風土や生活感情に合った、繊細で優美な日本的な文化であった。 | 3. 渡来人が伝えた技術や仏教の影響を受けた、日本で最初の仏教文化であった。 | 4. 禅宗の影響を受け、簡素で気品のある武家文化であった。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------|

問8 遣唐使に関連する人物や出来事の説明として、正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|
| 1. 阿倍仲麻呂は遣唐使として唐に渡り、科挙に合格して役人として登用されたが、日本に帰ることはできなかった。 | 2. 小野妹子は、最初の遣唐使として唐の皇帝に「日出づる処の天子」で始まる国書を届けた。 | 3. 鑑真は、遣唐使の一員として日本の最新の仏教建築を唐に伝えるために派遣された。 | 4. 足利義満は、勘合貿易を円滑に進めるために遣唐使の派遣を再開した。 |
|--|--|---|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 全国の土地の肥沃さや特産物、地名の由来や古い伝説などが記録された。	『風土記』は、中央政府が地方を管理するために、各国の経済的な資源（産物や土地の様子）や文化的な背景（地名の由来や伝承）を報告させたものです。一方、国家の成り立ちを記したものは『古事記』や『日本書紀』、和歌を集めたものは『万葉集』、仏教によって国を守ろうとしたのは「国分寺・国分尼寺の建立」であり、それぞれ目的が異なります。
問2	答え 1 天皇による支配の正当性を、神話や過去の出来事と結びつけて国内外に示すこと。	律令国家の形成期において、天皇が日本を統治する根拠を明確にすることは政治的に極めて重要でした。そのため、神代から続く血統の正当性を神話や記録として体系化し、公式な歴史書として残す必要がありました。地方の特産物などを記したものは『風土記』であり、歴史書の編纂目的とは区別されます。
問3	答え 1 古事記・日本書紀	奈良時代には、天皇による統治の由来を神話の時代からさかのぼって記録し、国内外に国家の正当性を示すための事業が行われました。その結果、712年に『古事記』が、720年に『日本書紀』が完成しました。『古今和歌集』は平安時代に編纂された勅撰和歌集であり、時代が異なります。
問4	答え 1 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。	防人は、当初は全国から集められましたが、後に主に東国（現在の関東地方など）の農民がその任にあたることとなりました。派遣先は太宰府の管轄下にある九州北部であり、家族と離れて遠方の国境を守るといった重い負担は、当時の農民を苦しめる要因の一つとなりました。東北の蝦夷対策にあたったのは主に「鎮守府」などに配属された兵士であり、防人とは区別されます。
問5	答え 1 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。
問6	答え 1 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。	聖武天皇の治世では、天然痘という感染症が猛威を振るい、当時の政権幹部である藤原四兄弟が相次いで病死したほか、藤原広嗣による反乱が起きるなど、国家的な危機に直面していました。このような不安を取り除き、人々の心を安定させるために、仏教という強力な精神的支柱を国家運営に取り入れ、全国規模での寺院建立が進められました。これは律令国家の整備が進む中で、宗教的権威を統治に利用した事例といえます。
問7	答え 1 遣唐使を通じてもたらされた唐の文化の影響を受け、国際色豊かであった。	天平文化は、聖武天皇の時代に栄えた文化で、唐（中国）の盛んな文化を積極的に取り入れたため、国際色が非常に豊かである点が特徴である。日本の風土に合った文化は平安時代の国風文化、日本で最初の仏教文化は飛鳥文化、禅宗の影響を受けた簡素な文化は室町時代の東山文化などの説明にあたる。
問8	答え 1 阿倍仲麻呂は遣唐使として唐に渡り、科挙に合格して役人として登用されたが、日本に帰ることはできなかった	阿倍仲麻呂は留学生として唐に渡り、皇帝に仕えるほど重用されましたが、帰国船の遭難などにより日本へ戻る夢は叶いませんでした。なお、小野妹子は「遣隋使」として隋へ派遣された人物です。鑑真は唐から日本へ正しい仏教の戒律を伝えるために招かれた僧侶であり、足利義満が行ったのは室町時代の「日明貿易」です。